

同時通訳でプレゼン？

ヒヨんな事から、生まれて初めて自分のプレゼンが同時通訳で英訳される機会を得た！と言っても何かの国際会議で、凄い内容のプレゼンをしたという事ではもちろん無い！

実は本年の1月末に、突然テレマティクスアプデイトというロンドンにあるセミナーの運営会社の高田さんと言う人からメールがあり、5月にヒルトン東京の「Data Business for Connected Vehicles Japan」というテーマでカンファランス（会議？）をやるので、タクシーがテーマのプレゼンをしてくれなにかとの依頼があった。

高田さんの依頼の趣旨は、例年、テレマティクスに関するセミナーを世界各地でやっているが、今年の日本でのカンファランスでは、特に現場のシステム事例への要望が強く、彼のメールに曰く

「只今本サミットのプロ

グラムの作成に伴い、日本の業界関係者の方を対象にヒアリングを行っております。その中で、タクシーの配車システムやデジタル化に對しての取り組みやビジョンに關心がある方が多く、タクシー業界にて様々なサービスを提供しておられる御社のご意見を伺いたく、この度ご連絡差し上げました。」との事。

何故オリジンなの？ という素朴な疑問が浮かぶ。例年のカンファランスの講演者を見ると、大手メーカーの開発担当者が殆ど！。もしかして、これは新手法の詐欺もどきの商法で、こうしたセミナーで講演させてあげる代わりに、しこたま金を出せという事なのかと、おぼろげと「お金はかかるの？」と聞いてみると、講師料は出ませんが、二日間のセミナー全体に無料で（このセミナー参加料は20万近くする！）参加できるのだ事。お金が掛からないのだしたら、少しは勉強と宣伝（と言っても、例年タクシー事業者は一社も参加してお

清野吉光氏のコラム 第54回

団塊 耕 志 録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年(株)タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。



テレマティクスは 希望の星！

らず、聴衆は内外の大手自動車メーカー、通信キャリア、建機メーカー、ITメーカーなどの開発研究部門の方々(;)になるかと思いい、身の程をわきまえず、引き受ける事にした！

ところで、何故オリジンなの？ と言う疑問は未だに解けない。担当の高田さんに聞いても、「しかるべく調査に基づいて」との回答。でも、しかるべく調査をしたら、もつと違った結果になったような気もするが、これも縁だと思いい、オリジンの次に繋がるよう活用させて貰うことにした。(でも、ひとつだけ、心当たりがある。一昨年、EVOTのシステムを手掛けた縁で大阪の失業対策事業の業者との繋がりができ、その事業の一つとしてオリジンのホームページの英語版を無料で作って貰えることになった。実のところオリジンにとって英語版のホームページは殆ど意味が無いのだが、こんなところで役に立った、いや立ったと思いいたい。スタッフの方達に苦

勞して、熱心に作って頂いたから。)

テレマティクスとは？

ところで、このカンファランスはテレマティクスをテーマにしているが、タクシー業界では聞きなれない言葉だ。しかし、思うにタクシー業界はテレマティクスの最先端を歩いて来たと思う。テレマティクスとはテレコミュニケーション(通信)とインフォマティクス(情報工学)から作られた造語で、ともすればカーナビと携帯網を連動させたトヨタのGBOOKや日産のカーウイングス、ホンダのインターナビなどがイメージされるが、タクシー業界のGPS-AVMシステムこそテレマティクスの先駆けだと思いい。移動体(車両)に設置された車載端末とタクシー無線という通信手段との統合により、CTIシステムによつて的確に位置把握された移動需要と、GPS-AVMによつて把握されたタクシーの位置情報を基に、最適マッチングを



テレマティクス業者に問われている事

- 活性化を目指すタクシー事業者のネットワークのサポート→例えばチームネクスト (<http://www.team-next.jp/>)
- ユビキタス端末、とりわけ車載端末の開発(耐久性と価格)
- テレマティクスで得られるビックデータの解析と活用(需要予測による流し経路指示)
- 「総合生活移動産業」のインフラをタクシー事業者と共に担い、育てる覚悟
- 新しい移動文化の創造を共に担う。あらゆる移動の自由、活性化をシステムでサポートする。

Total Solution By SYSTEM ORIGIN

迅速にして行く、タクシー業界の高度な配車システムはテレマティクスという分野でも、誇るべきシステムだと思われる。しかし、今や、テレマティクス技術の更なる飛躍的進化に寄って、このタクシー業界の「テレマティクス」も「次元の違う」進化(深化)が必要とされている。

タクシー業界にとってテレマティクスとは？

私のこのカンファレンスでのプレゼン内容は、現在のタクシー業界の「テレマティクス」の事例の紹介では無く(それもやりたかったが)、その表題は「タクシー業界にとってテレマティクスは希望の星!」という、極めてコンセプトアルでメッセージ的なものであった(結果、会場からは何も質問が出ず、外してしまったかとガツクリしたが...)。

会場のタクシー事業者では無い、テレマティクスの機器や、システムを提供する側の業者の人達に、タクシー業界に携わる者として共感して貰いたかったのは、

- ① タクシー業界は今、構造的な危機にあり
- ② テレマティクスの新しい飛躍的な進化が、「市場の失敗」という構造的問題を解決し、「総合生活移動産業」という新しいビジョンを実現するインフラを準備する。
- ③ したがってオリジンを含む「テレマティクス関連業者」に問われている事

は、

- 活性化を目指すタクシー事業者のネットワークのサポート
- ユビキタス端末、適切な通信環境の整備
- ビックデータの解析と活用のノウハウの提供
- 「総合生活移動産業」のインフラをタクシー事業者と共に担い、育てる覚悟
- 新しい移動文化の創造を共に担う。あらゆる移動の自由、活性化をシステム構築でサポートする。

という点であったが、少し欲張りすぎたかも...

あらためての気付き

あらゆる移動ニーズの組織化を無人、IT化で成し遂げようとするとパーク24の川上取締役のプレゼンを聞き、逆に、タクシー業界の勝算はただ一点、人が行う移動サービスの質にしか無い事を、強く強く感ずる。タクシー産業の持つ強みが人財を持つ事と成らなければ、未来は無い。

(2013年5月26日記)

スマホでタクシー呼んだらタクチャージで充電

docomo, au, SoftBankの各種携帯電話・スマートフォン・タブレットに対応
iPhone 3G・4S・5, iPad mini, iPad, iPod touch・nano

(販売元) TAXCHARGE 株式会社システムオリジン
03-3834-8352